

## ボランティア「3つのあい」であいふれあい たすけあい



10月15日(土)、よこすかボランティアセンターが主催する「令和4年度ボランティア活動体験はじめのいっぽ」が開催されました。ボランティア活動の入門講座となるこのイベントは、「コロナ禍により3年ぶりの開催となりました。参加者8名が集まり、「ボランティア活動とは何か」の講話を聞き、実際に横須賀猫部のご協力のもと、「横須賀なかま食堂」のボランティア体験を行いました。受講者に参加した理由を尋ねると、「子ども食堂に興味があり、ボランティアセンターのホームページを見て参加しました」「3月に引っ越してきたばかりで地域のことを知るきっかけとなれば」「娘の学校がボランティア活動を勧めているので親子で参加しました」という声が聞かれました。参加者の中には高校生や大学生もいて、緊張した面持ちの中にも和やかな雰囲気がありました。ご協力いただいた横須賀猫部代表の平賀さんは、ボラ

## ボランティア活動体験 はじめのいっぽ



ンティア活動について「普段の仕事などの役割と違つ中でのやりがいがあることと、学生にとっては将来につながる経験になるのでは」と話してくれました。

この日は総合福祉会館の本町コミュニティセンターで「横須賀なかま食堂」が開催され、65名の事前申込みがありました。大量の食材を前に参加者同士で作業のやりとりをしながら、熱心に調理に取りかかります。「ドキドキしています」と話すボランティア初体験の受講者も、手際よく調理をしていきます。参加者同士で和気あいあいと、調理作業の中にも世間話の花が咲いていました。

コロナ前は毎年開催されていたボランティア活動入門講座ですが、子ども食堂をテーマにしたのは、今回が初めてです。ボランティアの大事な要素の一つでもある「やって楽しいこと」を参加者の顔からうかがうことができました。

(Y・T)

横須賀猫部 <https://yokosukanekobu.amebaownd.com/>



## 親子の居場所よりどこ」

「親子の居場所よりどこ」(横須賀市社会福祉協議会 当事者団体組織化助成決定団体)は、令和4年5月に、不登園、不登校、行きしぶりなどにより、生きづらさを感じている子どもやその親が、社会から孤立するのを防ぐことを目的に設立されました。「よどこ」「よどこ」という名前には、みんなの心のよりどころになりたいという共同代表の小林さん、芹田さん、青木さんの願いが込められています。

取材にうかがった9月28日は、自然豊かな長坂緑地で野外活動が行われていました。活動は毎月第4水曜日の11時から15時まで開催されています。途中参加、途中退会は自由で、年齢制限も設けられていません。自然の中で行われる野外活動は、屋内での活動よりも、子どもたちの表情も柔らかくなるそう。参加した子どもたちは、気に入った場所で、興味のあることを見つけたら、自分で考えた、オリジナルの折り方で折った紙ひこうきを友だちと飛ばしたり、ボランティアの津藤毘斗(つとむゆうと)さんと、小川の中で蟹の抜け殻を見つけたら、みんなが思い思いに楽しんでる様子でした。

共同代表の一人、小林さんのお子さんたちは、外に出ること自体が難しく、「この活動をしていても、自身の子どもたちが活動に参加することはないかもしれない」と話します。小林さんに、この活動を続ける理由についてうかがうと、未来の子どもたちと自分たちのように悩んでいる親子のためだと話してくれました。今のところ拠点は持っていませんが、ないからこそその利点を活かして、いろいろな場所で開



催して、多くの人に気軽に参加してもらえるようにしていきたいとのことでした。参加は難しいという方にはメールでの相談も受け付けています。「自分たちのような状況にあると、どうしても孤立しがちだからこそ、誰かとながって、声をかけ合えるような関係を築いていけたらいいなと思っています」と同じく代表の芹田さんは話してくれました。野外活動から子どもたちの学びが広がり、参加してくれた方たちが、楽しかったなという気持ちを持ち帰って、明日も頑張ろうと笑顔になってくれたら嬉しいとも話してくれました。

今回2回目となる参加者からは、「ここに参加すると、いろいろな情報ももらえるので助かります。リアルなつながりが嬉しいし、親子で一緒に参加できるというのも嬉しいです」という声が聞かれました。

現在は、「よどこすか・みづら居場所まっぴプロジェクト」を立ち上げ、子どもたちの手元に届けるべく奮闘中だそう。今後は、同じように不登校の子どもを持つ親の会や、子育て団体との横のつながりをより太くして、横須賀の子育て支援をみんなで盛り上げていきたいということでした。今後の「親子の居場所よりどこ」の活動からも目が離せません。

活動日 親の会 毎月第3土曜日 13時～15時

野外活動 毎月第4水曜日 11時～15時

参加費 1回 大人1000円(子ども1000円)(何人でも)

(野外活動は保険代含む。交通費、入館費など別)

※途中参加、途中退出自由、年齢制限なし、

親だけの参加も大歓迎

詳しくは、フェイスブック「よどこ」

メール yoridoko.yokosuka@gmail.com

## ボランティア連絡協議会から

### 障害者週間キャンペーンYOKOSUKA

毎年12月3日から9日までの1週間は、障害のある人たちの社会参加を推進し、理解と認識を深めるために、国連が定めた「障害者週間」です。互いに人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」の実現には、一人ひとりの取り組みが必要です。期間中は、毎年各地でさまざまな取り組みが行われています。

私たちは、「あったかハート交流会」を開催します。この交流会を通じて、少しでもろう者についての理解が深まり、偏見や差別のない社会になることを願っています。また、地域作業所による展示や販売会も行われる予定です。ぜひ、足を止めてご覧ください。詳しくは別に配布しているチラシをご確認ください。

### あったかハート交流会

日時 12月3日(土) 10時30分～15時40分

場所 総合福祉会館 5階ホール

内容 障害者団体による活動発表 10時30分～

手話を学んでみよう! 13時30分～

体験発表「ろう者について」 14時00分～

当事者とその保護者の話

元気いっぱいのパフォーマンス 15時20分～

### 第6回ボラ連キックオフフェスタ 参加団体募集

ボランティアの交流、そして新たな人との出会いを求めて実施します。参加団体ならびに一緒に企画運営してくれるボランティアも募集しています。奮ってご応募ください。

日時 令和5年3月4日(土)

10時30分～15時30分(予定)

会場 総合福祉会館 5階全フロア

内容 ボランティア団体の活動紹介  
招待団体の活動紹介

※ 詳細は、これから配布する申込書をご覧ください。ジャンルによっては参加条件があります。ご了承ください。



※掲載されている行事は、今後の新型コロナウイルス感染状況により、変更になることがあります。

### 登録ボランティア団体紹介②9

## よこすか布おもちゃグループ "ポケット"



子どもの夢がいっぱい入る「よこすか布おもちゃグループ "ポケット"」は、横須賀市社会福祉協議会の布おもちゃ制作貸出事業に協力し、貸し出し用の布おもちゃ・布えほんを製作しているボランティアグループです。毎週金曜日の午前10時から15時まで活動しています。

毎月第2金曜日に総合福祉会館5階の和室で行われる「布おもちゃ親子サロン "ポケットひろば"」にも協力しています。

「よこすか布おもちゃグループ "ポケット"」の活動は2001年から始まり、今年で21年目になります。一番の喜びは、子どもたちの喜ぶ姿だそうです。

一つ一つに皆さんの心がこもっていて、安全で楽しく遊べる作品を大いに活用してほしいと思いました。

(K・I)



### 布おもちゃ親子サロン "ポケット" ひろば 再開

8月と2月を除く、第2金曜日の10時～12時に開催されていた布おもちゃ親子サロン "ポケット" ひろばが、3年ぶりに再開されることになりました。

親子合わせて先着25名の事前予約制とします。予約の締め切りは2日前までとなります。

広い和室の畳いっぱいには広げられたたくさんの布おもちゃでぜひ一緒に遊びませんか?

布おもちゃは貸し出しも行っていきます。ご家族やお友達とぜひご利用ください。





# ボランティアセンターからのお知らせ



おめでとございます

神奈川県社会福祉協議会会長表彰

(13団体)

THE☆すかつ子「ソーラン」

Yブリッジ

明るい社会づくり「土筆グループ」

華雅会

国際交流着物グループ「文化の配達人」

サポートホリデイネットワーク

すずらんグループ

ハーラウ・ケ・アオ・マーマ

矢車草車いすダンス

横須賀開国甲冑隊

横須賀市アマチュア無線非常通信協議会

横須賀美術協会

わんわんわん

神奈川県社会福祉協議会会長感謝

(6団体)

あじさい指の会

横須賀市音訳ボランティアはまゆの会

横須賀市地域支援赤十字奉仕団

横須賀市点訳奉仕会

横須賀手話勉強会ひまわり会

横須賀要約筆記勉強会「海」

横須賀市社会福祉協議会会長表彰

(2団体)

ハイランド2丁目舞の会

クロスロード

(順不同)

ご協力をお願いします



よこすかボランティアセンターでは、使用済み切手やアルミ缶の収集を行っています。

集めた使用済み切手は、ボランティアグループ「いとほん」を通じて外国へ寄付します。アルミ缶は市内の福祉施設へ寄付します(アルミ缶は浦賀地区ボランティアアセンタ、北下浦地区ボランティアアセンタでも回収しています。近くに在住まいの方はそちらもご利用ください)。

## ボランティア募集

特別養護老人ホーム横須賀椿園  
場所 横須賀市太田和2-13-21  
内容 施設内の植木の剪定・草とり  
日時 ご希望の日時で調整可  
詳細はボランティアセンターまで

## おうち時間を楽しもう



編集委員Mさんの簡単レシピ

『手間なし☆コーンチャウダー』

グルテンフリーで化学調味料不使用ですが、缶詰さえあれば洋風メインの料理のお供や、ランチや朝食にもぴったりと本格的な味が作れます。アサリはシーフードミックスで代用可、豆乳の量を変えればスープパスタにも変身です。手作りスープで身も心も温まります。

＜材料2〜3杯分＞

A(すべてみじん切り)

玉ねぎ1/2個、ベーコン

1枚、にんじん1/3本、

にんにく半かけ

B コーンクリーム缶(小)、

アサリ水煮缶(小)、

無調整豆乳約1カップ

＜調味料＞(すべて適量)

サラダ油、塩コショウ、

粉チーズ、水

＜作り方＞

① 材料Aをんにく、ベーコンで炒め、香りが出てきたら玉ねぎと人参を加えて塩コショウをし、玉ねぎが透き通るまで焦がさないよう気を付けて炒める。

② 鍋にひたひたの水を入れ蓋をして、3分蒸し煮にする。③ 材料Bとアサリ缶、コーンクリーム

缶、豆乳を加える。④ 塩コショウと粉チーズで味を整え完成。



## 編集委員コラム



秋だ！皆さんは何を思い浮かべますか。「〇〇の秋」といろいろ言われます。冬が来る前の過ごしやすい季節です。

日中外に出るの散歩、いいですね、元気に笑顔で腕を振って、人目を気にせずやってみましょう。「散歩なら毎日のようにしている」という方もいるでしょう。気の持ち方が大切です。義務的に行っても楽しくありませんよ。毎日生活できることに感謝の気持ちでいると、自然と手を合わせたくなりますか。

以前私の所では、ぶどうをハクビシンに食べられ、後には種と皮が落ちていました。目が合ってもハクビシンはすぐには逃げません。今年はまだぶどうが残っています。午前2時〜3時の間に音がすると「あ、ハクビシンだ」と思っています。外を見てぶどうが食べられていないとホッとします。

最近私は仏画に興味があり、始めようと思っています。過ごしやすいいこの季節に何かを始めるきっかけができるといいですね。

元氣を出して、一日一日を大切にしていきたいと思います。(H.O.)